

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立豊西小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 本校の教育課題についての説明、それを踏まえた校長先生からの基本方針の提案はよく理解できた。特に、映像や図表をプレゼン方式での説明は、とても理解しやすく好評であった。目指す学校の姿から新たな取組みについて熟議し、共有できた。
- それを受けて、各委員から意見が出されたが、校長先生の提案は共感的に受け止められたと思われる。学校の教育全体構想（グランドデザイン）については、支持する意見が大半を占めた。委員の活発な意見交換ができた。
- 校長から学校運営の基本方針の説明の際、「学校自慢10」が掲げられた。その中に「教職員」があり、「チーム豊西」で子供たちの学びを支える姿勢が伺えた。
- 学校として子供たちの何がよくて、今後伸ばしたい点の説明があり、それに対する意見交換も十分に行えた。
- 協働センターとして、これからも、地域の教育施設と連携した講座を目指していきたいと考えている。
- パワーポイントを用いた学校生活の様子は、とてもわかりやすく理解できたが、目指す子供への議論にも時間をかけたい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 本年度の教育活動内容と、教育全体構想との関連がよく理解され、各委員から様々な意見が出された。年を追うごとに各委員の学校理解が深まり、熟議し深める態勢が整いつつある。
- 学校という集団の中で、適応に苦しんでいる子供たちの存在への理解が深まった。また、そのことに対する先生方の実態についても理解が深まった。
- もう3年あまり続くコロナ禍の中で、多くの教育活動が縮小・変更を余儀なくされている。子供たちの成長にマイナス要因とならないかという懸念の声も聞かれた。
- 昨年度の結果として、支援学級の開設、放課後音楽講座の開始があり、実際にみることもできてとても良かったと感じる。
- 学校からの要望により、花壇整備や環境学習などの活動が増えたことは熟議が円滑に進んだ結果である。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 様々な立場の委員の意見を聞いたことで、学校や子どもを捉える視点が広がった。学校・家庭・地域の役割を整理し、家庭・地域へ発進していきたい。
- コロナの取り扱いも変わってくることになり、限定されていた活動から、以前のような活動へ戻すにあたり、できるだけ先生方・児童の負担を少なくできるか。来年度はコロナとの共生となり新たな学校行事等について熟議していきたい。
- コロナ禍でPTA活動、保護者会などが大きく変わり、人とのつながりが減り、地域や仲間と協調することが求められる。情報の発信など、方向性を考えたい。
- 1～6年の先生方との交流の場があればと思う。
- 「とよにし放課後音楽講座」の参加児童による地域への活躍（発表）の場を広げ、さらなる充実・地域への浸透を図りたい。